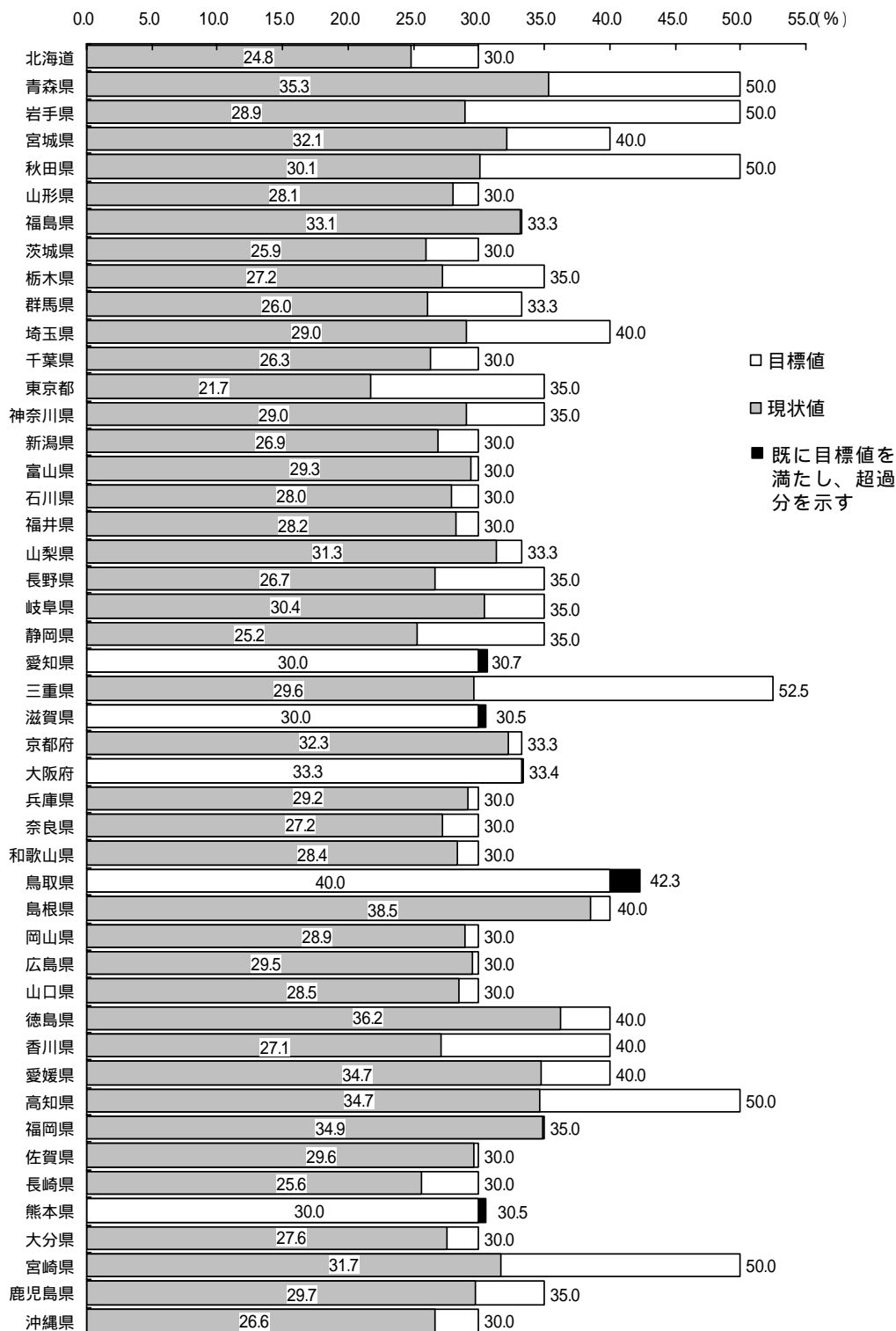


- 3 東京都、国、地方自治体における男女平等参画の促進

1 審議会等委員への女性委員任用計画

審議会等委員の女性比率で現状値が30.0%を上回っているのは19府県であり、そのうち4県は35.0%を超えている。中でも鳥取県は現状値が42.3%と最も高い。東京都は目標値が35.0%であるのに対し、現状値は21.7%である。

図表 - 3 - 1 審議会等委員への女性委員任用計画（全国）

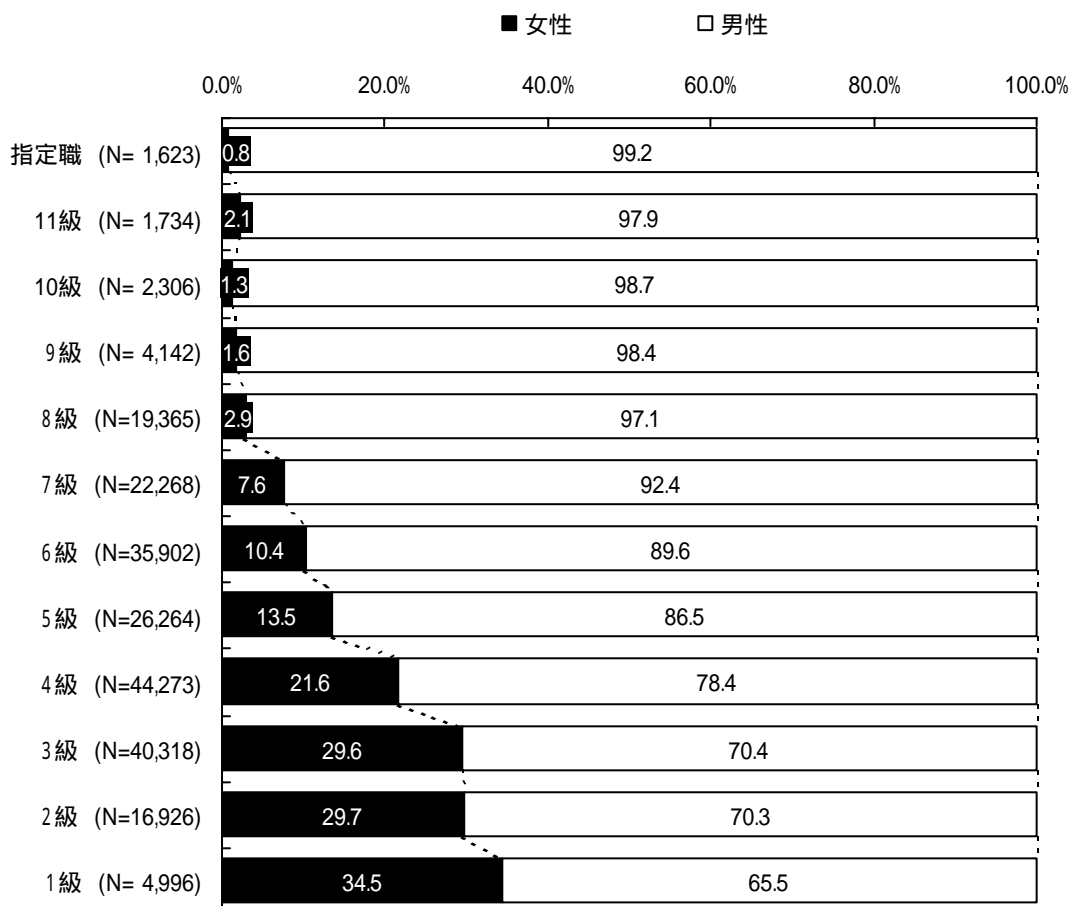


資料：内閣府男女共同参画局「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」2005（平成17）年度

2 等級別国家公務員の男女比

平成 16 年 1 月 15 日現在の等級別国家公務員の女性比率は、階級が上がるにしたがって低下する傾向がみられる。

図表 - 3 - 2 平成 15 年度の等級別国家公務員の男女比（全国）



注 1：平成 16 年 1 月 15 日現在の男女の構成比。

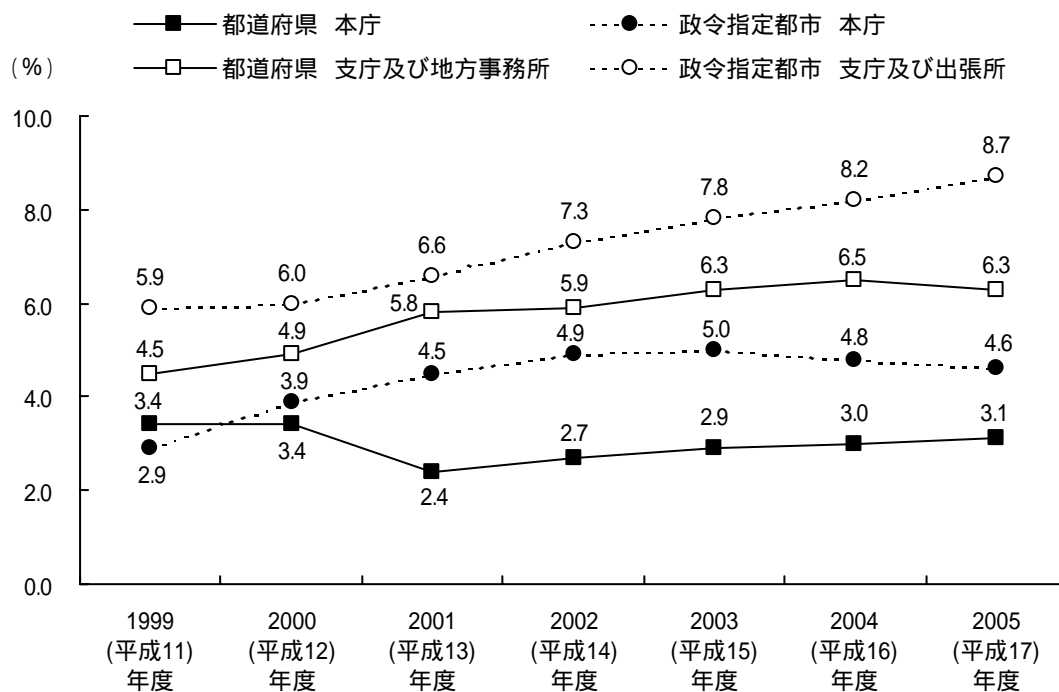
注 2：9～11 級と指定職は、管理職相当。

資料：内閣府男女共同参画局「女性の政策・方針決定参画状況調べ」2006（平成 18）年

3 地方公務員管理職に占める女性の割合

都道府県及び政令指定都市における女性管理職の割合の推移をみると、政令指定都市の支庁・出張所で上昇傾向がみられ、平成 17 年度は 8.7% となっている。

図表 - 3 - 3 地方公務員管理職に占める女性の割合（全国）



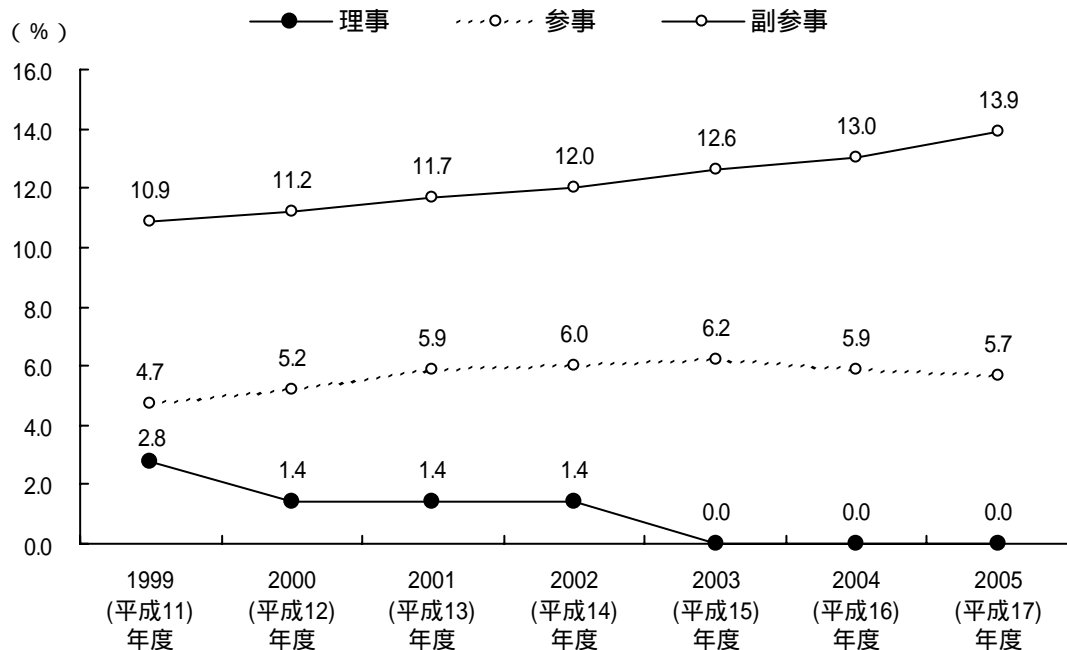
資料：内閣府男女共同参画局「女性の政策・方針決定参画状況調べ」2006（平成18）年

4 都職員の階層別女性比率

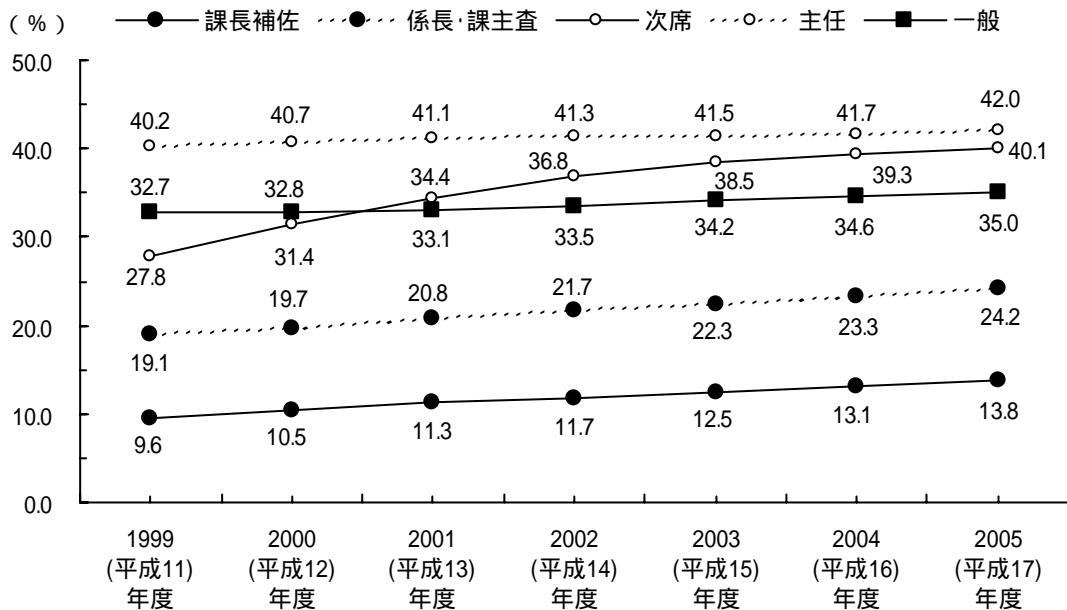
都職員の階層別女性比率の推移をみると、副参事、課長補佐、係長・課主査、次席、主任、一般は年々上昇する傾向にあり、中でも次席・主任は4割を超えている。

図表 - 3 - 4 都職員の階層別女性比率の推移（都）

<管理職>



<主事>



注：各年度4月1日現在

資料：東京都人事委員会「都職員の構成」2005（平成17）年